

祝

# 秋の叙勲

仙北市では、平成28年度秋の叙勲受章者が発表され、仙北市から次の方々を受章されました。各分野で長年にわたり、地域社会に貢献された皆さまの受章を、心からお祝い申し上げます。

栄えある受章おめでとうございます

## 旭日双光章



石黒 直次氏  
(76歳 角館町表町)

地方自治功勞。元仙北市市長。平成17年10月から平成21年10月まで市町村合併後に誕生した仙北市の初代市長を務める。仙北市の礎を築き、市政の発展に貢献されました。

## 瑞宝双光章



荒木田 佐利氏  
(70歳 田沢湖生保内)

警察功勞。元警察官。昭和39年4月に秋田県警察官を拝命。以後、平成17年3月まで危険性が著しく高い職務に従事。長年にわたり、地域の安全や交通環境の整備に尽力されました。

## 瑞宝単光章



浅利 重昭氏  
(69歳 西木町松木内)

消防功勞。元仙北市西木消防団長。昭和47年西木村消防団に入団。平成15年から平成20年まで団長を歴任。火災や災害から住民の生命・財産を守り、団員の育成強化に努めました。

## 瑞宝単光章



佐藤 生治氏  
(68歳 田沢湖角館東前郷)

消防功勞。元仙北市消防団長。昭和49年田沢湖町消防団に入団。平成23年から平成26年まで団長を歴任。豊富な経験と優れた指導力で地域の安心・安全のために尽力しました。

## 平成28年度中学生防火防災弁論大会

### 防火防災の意識を高めよう

11月9日、秋田県消防協会大仙仙北美郷支部主催による平成28年度中学生防火防災弁論大会が、西木温泉クリオンで開催されました。仙北市内の5つの中学校から1人ずつが参加し、防火防災について意見発表した概要を紹介します。

西明寺中学校2年  
村上 陽夏 さん

「私にとっての防火防災」という演題で、学校で救急救命講習を受けた時に消防士からの話を聞いて「周囲に守られてばかりの今までから、守る立場になってみせる」という思いを抱いたことについて発表しました。

生保内中学校2年  
佐々木 まゆ さん

「今の私たちにできること」という演題で、自宅がホテルを経営し、火事を出したら多くの人を巻き込むことから「火は便利なものだからこそ、大切に安全に使う意識をもつこと。火事を起こさないためにどう生活するのかを考えること」について発表しました。

角館中学校2年  
大澤 ゆき乃 さん

「父の姿から学んだこと」という演題で、「自然災害の脅威、人間の油断から起きる大きな代償。そして、その人災である火災を防ぐことができるのも人間だということ」を、消防士である父の姿から学んだことを発表しました。

神代中学校2年  
草薙 友愛 さん

「防火のために私たちができること」という演題で、友人の父である消防士から話を聞き、自分で調べて「火災の危険は身近に潜んでいる。自分たちの心がけ次第でその危険から身を守ることができると」ことを発表しました。

松木内中学校3年  
伊藤 和磨 さん

「火災や災害は必ず起きる。人が命を守るためには」という演題で、松木内中学校で2年間にわたり全校で東日本大震災の被災地を訪問し「自然の脅威に対して、一人ひとりが普段での生活の中で防災意識を高めることが大事である」とことを発表しました。



堂々とした弁論で入賞された各校の生徒たち。

### それぞれの弁論を終えて

審査長講評

仙北市教育長 熊谷 徹

防火防災の意識が育まれてきた過程をよく見つめ直してこれからの自分たちの地域の防災の向上につなげていきたいという思いが強く伝わりました。呼びかける時の強弱やメリハリが少し必要な部分もありましたが、全員の内容が素晴らしく、しっかりと吟味して取り組んだ努力がうかがえます。今後は聴衆に訴える力を弁論で身につけてほしいと思います。

### 【審査結果】

- ▼最優秀賞 松木内中学校3年 伊藤和磨さん
- ▼優秀賞 神代中学校2年 草薙友愛さん
- ▼優秀賞 西明寺中学校2年 村上陽夏さん
- ▼努力賞 角館中学校2年 大澤ゆき乃さん
- ▼努力賞 生保内中学校2年 佐々木まゆさん